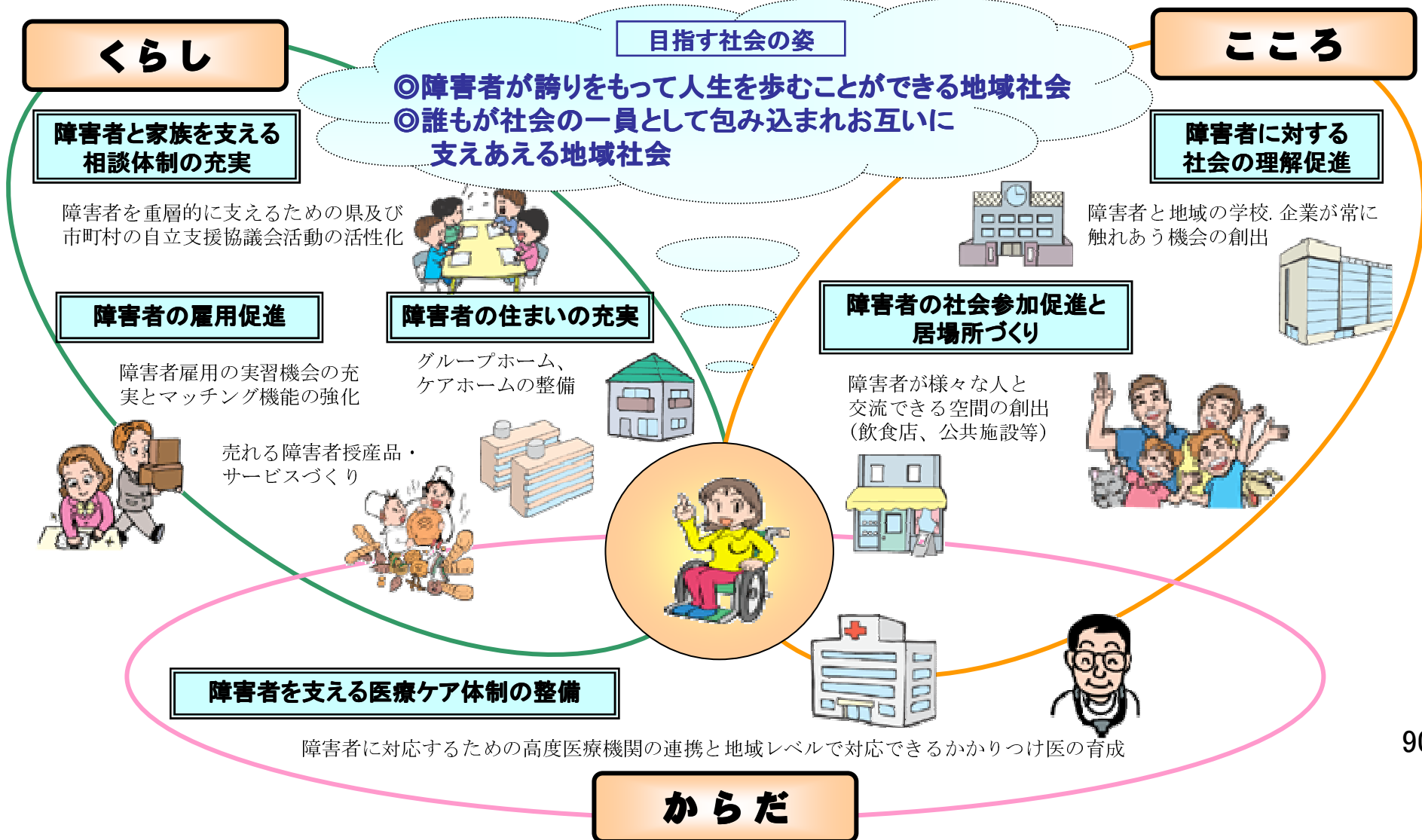


障害者の豊かな生活の確立



こころ

からだ

現状と課題

理解

実態調査*の結果から、「地域住民の障害者への理解を深める啓発」を求める割合が高い。(29.4%)



まだまだ社会での障害者の理解が進んでいない。

社会参加

実態調査の結果から、「日中に自宅で過ごしている障害者」の割合が高い。(平日52.7%)



地域での障害者の居場所(日中活動の場)が少ない。

目指す姿

障害者に対する社会の理解促進

全ての県民が障害者を理解し、ふれあう機会をもつことができ、障害者と県民が**支えあって暮らす**ことができる社会の実現

障害者の社会参加促進と居場所づくり

全ての障害者とその家族が地域で孤立することなく、**いきいきと暮らす**ことができる社会の実現

主な取り組み

- 障害者を地域で支える**ボランティア10万人育成**
- 県民の善意を形にする**県民チャリティネットワークづくり**
- 障害者と地域の学校・企業等がパートナーとして交流する「**障害福祉版アドプト・システム**」の構築
- 全県的な「(仮称)奈良県障害者**スポーツ・アートフェスティバル**」の開催

- 障害者アンテナショップを全県的に展開**し、障害者授産品の商品開発・販路拡大の支援
- 障害者への割引や特典などのサービスを行う企業等による「**障害者サポーター制度**」の構築
- こども・高齢者・障害者に対応する「**統合デイサービス**」の**全市町村での設置**

現状と課題

実態調査の結果から、「障害者に配慮した保健、医療体制の充実」を求める割合が高い。(30.7%)



障害者や家族のニーズに応じた医療やレスパイトの体制が整備されていない。

目指す姿

障害者を支える医療ケア体制の整備

全ての障害者とその家族が必要とする医療サービスやリハビリを受けることができ、**健やかに暮らす**ことができる社会の実現

- 重症心身障害児・者に対応する**医療ネットワークの構築**
- 在宅障害者に対応できる**かかりつけ医の育成とサポートシステムの構築**
- 家族のレスパイトのための**ショートステイの拡充と人材確保支援**
- 回復リハビリ後の在宅復帰・地域移行に向けた**地域福祉ネットワークの構築**

* 実態調査＝「障害者の生活・介護に関する実態調査」(奈良県実施 平成21年8月～12月 回答数12,188件)

くらし

現状と課題

相談

実態調査の結果から、困った時の相談先で「相談支援事業所」(4.2%)、「市町村」(17.5%)の割合が低い。一方で、「必要な相談や情報を提供する体制の充実」を求める割合が高い。(33.0%)



障害者に信頼される相談支援体制が確立していない。

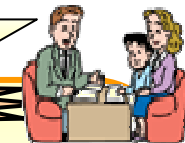
目指す姿

障害者と家族を支える相談体制の充実

全ての障害者の一生を支える相談システムがあり、障害者とその家族が**安心して暮らす**ことができる社会の実現

主な取り組み

- 障害者がライフサイクルを通じて一貫した支援を受けることができる **奈良県独自のオーダーメイドの相談支援システムの開発**
- 障害者から信頼される「**ほっと相談員**」の養成
- 県・市町村の自立支援協議会による **困難事例のサポート機能の強化**



雇用

実態調査の結果から、就労を進めるために必要なのは「職場の人が障害の理解」(43.3%)「仕事を教えてくれる人」(37.3%)、「障害を考慮した設備等」(35.6%)の割合が高い。また、県内福祉事業所等における平均工賃は11,520円(H20年度)と低い。



企業等で働きたい障害者が働けず、福祉事業所等で働いても賃金が低い。

目指す姿

障害者の雇用促進

働くことを希望する全ての障害者が自分の能力が発揮できる仕事を得ることができ、**誇りをもって暮らす**ことができる社会の実現



- 働きたい障害者と企業をマッチングさせる **県庁版障害者ハローワークの設置**
- 障害者アンテナショップにおける **障害特性に応じた雇用モデルの開発**
- 県内大企業の **特例子会社設置の促進**
- 全ての公共機関・大企業による **実習機会の創出**
- 公共機関・大企業による **「授産品等調達システム」の確立**



住まい

実態調査の結果から、地域での暮らし方の希望として「家族と一緒に」(49.1%)、「普通の家で一人暮らし」(17.0%)、「グループホーム、ケアホーム」(各13.2%)の割合が高いが、奈良県内のグループホーム等の整備は進んでいない。(H18:50カ所→H20:53カ所)

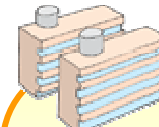


地域の理解が得られない等の理由で、障害者のニーズに応じた住まいの場の整備が進まない。

目指す姿

障害者の住まいの充実

全ての障害者が希望するところで希望する生活スタイルで、**自由に暮らす**ことができる社会の実現



- 障害者の住まいの確保のため、県等が積極的に支援する **「公共保証型グループホーム・ケアホーム」の整備促進**
- 川辺などの環境に恵まれた地域等、 **障害者が暮らしやすく、自立しやすいまちづくりの推進**
- 県営住宅における **障害者枠の拡大**
- 官民協力による **民間賃貸住宅の斡旋システムの構築**

